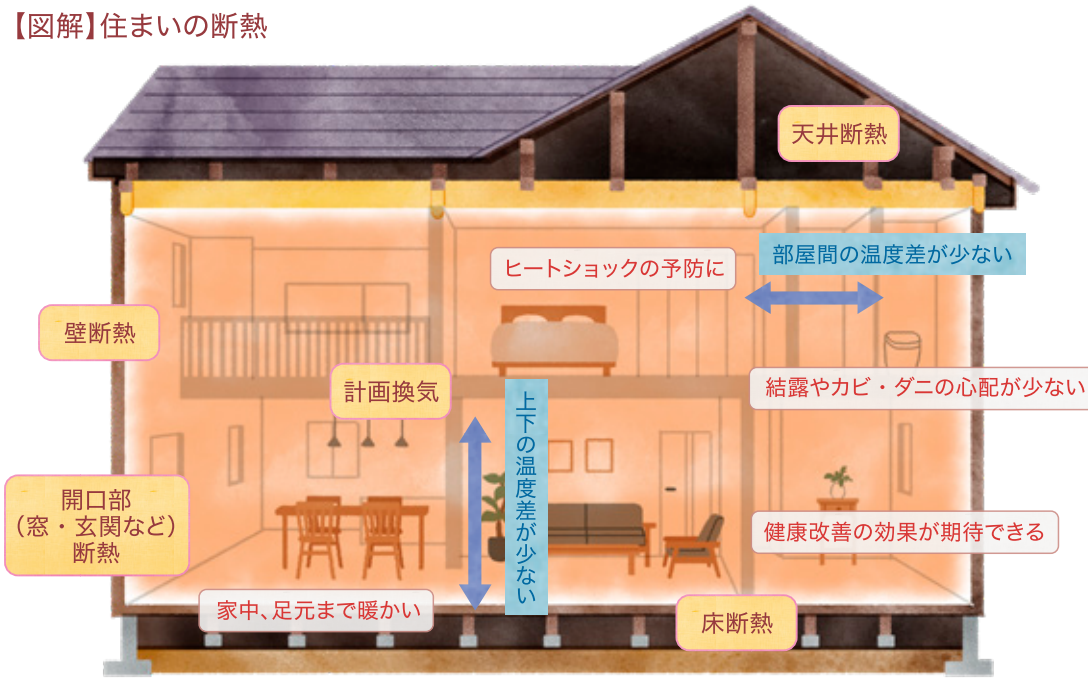




【図解】住まいの断熱



あるとないで全然違う！ 住まいの断熱

年間を通して快適な家は断熱性能に違いがあります。意外に知らない住まいの断熱について、基礎知識を押さえますよう。

そもそも断熱って
どういうもの？

住まいにおける断熱とは、家を外気の影響から守ること。「冬暖かく、夏涼しい」を実現するものです。「遮熱」もよく聞く言葉ですが、これは光や熱を跳ね返すこと。主に夏場の暑さ対策で使います。冬季にはほぼ意味がないのでご注意ください。

これからの住まいに断熱性能は欠かせません。その重要性について説明します。

今すぐ断熱すべき
3つの理由

断熱のある住まいで暮らすことが、私たちにどんなよい影響を与えてくれるのか、3つの視点でまとめました。

1 健康な毎日のために

室内の温度差が大きいと、心臓や血管に重大なダメージを与えるヒートショックの原因になります。また、近年では室内熱中症もよく話題に。家の中の温度差は、健康や生命を脅かすリスクになり得ます。断熱は、快適さのためだけでなく、安全に暮らすためにも必要なものです。

2 省エネ — 環境のために —

断熱により冷暖房の消費エネルギーを抑えた家は、CO₂排出量の抑制にも貢献できます。自分と家族の「快適」を求めていることが、めぐりめぐって地球環境への優しさにもつながります。

3 省エネ — 我が家のために —

断熱は、家庭の冷暖房費の節約にもばっちり効きます。家全体を断熱した場合、従来の一般的な家屋の場合と比べて、年間約5万円※の削減になるという試算も出ています。

快適なだけじゃない。健康も、節約も！様々なメリットのある住まいの断熱を、この機会にぜひ検討してください。

暮らしメモ

住まいの断熱あれこれ

断熱は目的や予算に合わせて、いろいろな規模で行えます。ここでは、LIXILの断熱リフォームをご紹介します。

●まど断熱

家屋の窓は熱の出入りが最も多い場所の1つです。この窓をピンポイントでカバーすることで、効率よい断熱が行えます。まど断熱なら、壁や屋根など比べて費用も少なく済み、工事も短期間。「まず手始めに」「できるだけ簡単に」といった希望がある時にぴったりです。

●ひとへや断熱

一部屋にフォーカスして、窓・壁・床を断熱します。リビングなど、いつも人のいる部屋をリフォームすることで、冷暖房費の大きな節約が期待できます。ワークスペースや勉強部屋を快適にすれば、効率もアップ!?

●まるごと断熱

家全体をまるごと断熱することも、もちろん可能です。新築の高性能住宅並みの性能を備えた家が、リフォームで実現するのです。全体を断熱することで、部屋ごとの温度差を抑えることができ、ヒートショック対策としても有効です。



※年間一次エネルギー消費量から試算 【住宅プラン】2階建て/延べ床面積120㎡(自立循環型住宅モデルプラン)、【建設地】東京(地域区分6地域)、【電気料金】27円/kWh、【設備仕様】従来の家：一般的なS55年レベルの戸建て住宅を想定(LIXIL調べ) まるごと断熱リフォームの家：HEAT20 G2レベルの仕様